



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2017

No. 48 (平成30年3月2日発行)

佐高 inspirer ファイル

城北小・読み聞かせボランティア



2018年1月18日(木)、佐野市立城北小学校で絵本の読み聞かせボランティアを行いました。

中学生12名、高校生4名の計16名が参加しました。

事前に、佐野市図書館の司書の方や、読み聞かせボランティアの方にご指導いただく練習会を昼休みに2回実施し、自宅で何度も読む練習を重ね、当日を迎えました。**練習会**では、本の持ち方や、ページをめくるタイミング、声の出し方や表情など、多くの読み聞かせのコツを教えてくださいました。

当日は、とても上手に心を込めて読み聞かせをすることができ、小学校の先生方から、お褒めの言葉を多数いただきました。参加生徒は、以下の通りです。

中1：小林詩、長島智珠佳、篠原彩絢、秋野仁美、若田部夢翔、大森桃羽、石塚凜花、高橋亮介

中3：若田部菜桜、柏瀬萌羽、兵藤かほる、中山実千花、高1：荒井真優、亀田茉那、高2：齋藤多聞、池沢美紀



中学生(12名)



高校生(4名)

☆参加生徒の感想から☆

・初めての経験でとても緊張しました。しかし教室に入ると、小学生たちは笑顔であいさつをしてくれ、緊張よりも楽しいという気持ちになりました。私が読む本は、ナレーション、5さいの女の子、オニ、という3つの声を使う本でした。女の子とオニの会話文では、高低差をうまくつけ、聞き手に誰が話しているのかが分かったら良いなと思いました。読み終わった後、数人の女の子たちから「声の変わり方がすごい」と言われ、うれしく思いました。(中1 小林さん)

・普段からあまり声を出して物語を読むということをしないのですが、どこをどう読めば聞き手に楽しんでもらえるか考えながら練習するのがとても楽しく、本番もその成果を出せたので大きな達成感を得ることができました。城北小の子供たちは一生懸命話を聞いてくれたので、気持ちよく本を読むことができました。(高1 荒井さん)